

“感謝の思いで締めくくる”

卒業式を終え、多くの卒業生が3年間の学校生活に対して、担任の先生やその他お世話になった先生に感謝の気持ちを表していきました。また、大学の合格がわかった生徒は、合格を報告し、添削等でお世話になったことに感謝の気持ちを伝えにやってきましたし、合格ができなかった生徒も、今までお世話になったことにお礼の言葉を述べていて、とても立派なことだと思いました。感謝の気持ちは、万国共通して、美しく、人の気持ちをほっとさせてくれるものです。とかく日本人は、「感謝の気持ちは、言葉で伝えなくても、心と心が通じ合っていれば伝わる。」と思いがちですが、なかなか伝わらないこともあります。特に家族。いつでも伝えるチャンスはあるものの、照れくさくて言えないものです。私も小さい頃は、「ありが+匹」なんて、ごまかしていたこともあります。自分を支えてくれた人達にしっかりと声に出して、感謝の気持ちを伝えることは大事です。今まで、朝早くからお弁当をつくって持たせてくれたこと。困ったときに相談にのってくれたこと。欲しいと思う問題集や参考書を自由に持たせてくれたこと。・・・振り替えると、多くのことを黙って認めてくれた家族には、感謝の気持ちしかありませんね。自分の1年間を締めくくるこの時期に、自分の周りの人に感謝の意を伝え、締めくくってみてはどうでしょうか？



では、著名人の感謝に関わる言葉をいくつか紹介します。

- お返しを期待しない、感謝の言葉も求めない。それが本当の奉仕です。 瀬戸内寂聴
- 感謝の心が高まれば高まるほど、それに正比例して幸福感が高まっていく。 松下幸之助
- 私にできることは小さなこと。でも、それを感謝してできたら、きっと大きなことだ。 星野富弘
- ラクに生きてる人って、感謝が多い。イヤなことにも感謝する。もちろん、よかったことも感謝する。 斎藤一人
- 「ありがたいな」と思う気持ち、感謝の心を持つことは、そういう小さな幸せを手にするチャンスをたくさん作ってくれる。成長するために、感謝の心は必要不可欠なんだ。 長友佑都
- 褒め言葉よりも苦言に感謝。 松岡修造

前向きな言葉に触れるだけで、意識が変わり、自分の気持ちも明るくなってきます。言葉は行動に大きく影響しますから、ポジティブな言葉にいつも触れていると、人生を楽しく生きられるようになるんです。